

施工手順 12 完了確認

●ビスの固定確認をし、清掃して完了です。



⚠ 注意



必ず実行

ブラケットピッチは必ず守ってください。

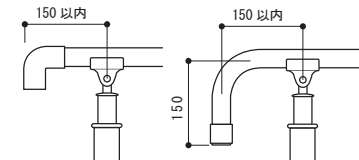
支柱、壁付けブラケットの取付ピッチは、2本(個)使いは700mm以内、3本(個)以上使いでは800mm以内としてください。このピッチを守らないと、手すりが曲がったり、ネジのゆるみの原因になります。



必ず実行

手すり端部の持ち出し長さは150mm以下にしてください。

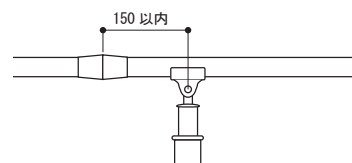
150mmより長くなると、手すりが曲がったり、ネジのゆるみの原因となります。



必ず実行

ジョイント中心部から150mm以内に支柱又は壁付けブラケットを取付けてください。

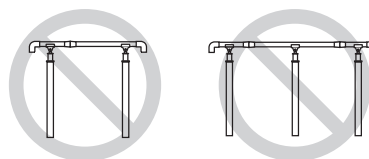
150mm 以内に支柱または、壁付けブラケットの支えが無いと十分な強度を得られず手すりが曲がったり、ネジのゆるみの原因となります。



禁止

ジョイントは最小限の数で取付けてください。

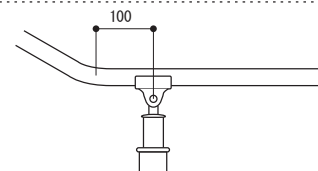
手すり棒ジョイントは手すり棒の定尺寸法(2m材、3m材)を考慮し、最小限の数量としてください。また、手すり全長が定尺寸法内の場合はジョイントは行わないでください。



必ず実行

縦曲げ中心部から100mm以内に支柱又は壁付けブラケットを取付けてください。

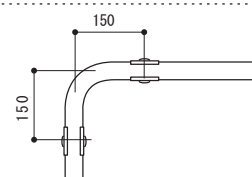
100mm以内に支柱または、壁付けブラケットの支えが無いと十分な強度を得られず手すりが曲がったり、ネジのゆるみの原因となります。



必ず実行

横曲げ中心部から150mm以内に支柱又は壁付けブラケットを取付けてください。

コーナー入隅、出隅など、横曲げ中心150mm以内に支柱または、壁付けブラケットの支えが無いと、十分な強度を得られず手すりが曲がったり、ネジのゆるみの原因となります。



禁止

AP止めネジは仮止め時に強く締め付けしないでください。

支柱の仮止めネジ(AP止めネジ)は仮止め時に強く締め過ぎると支柱にネジ跡が付くことがあります。施工が完了するまで、本締めしないでください。

